

資金分配団体 審査会議 議事概要

通常枠第2回 草の根活動支援事業・災害支援事業

1. **日時**：2022年12月21日（水） 開会 15：00－閉会 17：18

2. **場所**：東京都千代田区内幸町2丁目2番3号日比谷国際ビル 314
JANPIA 事務所内 大会議室、Zoom

3. 審査委員（敬称略）

- ・ 深尾昌峰（龍谷大学政策学部教授）[議長]
- ・ 菅野拓（大阪市立大学大学院文学研究科准教授）
- ・ 山内明子（生活協同組合コープみらい常務理事）
- ・ 山内亮太（株式会社 ESCCA 代表取締役）
- ・ 米田佐知子（子どもの未来サポートオフィス代表）
- ・ 審査事務局：JANPIA

4. 議題

2022年度通常枠 第2回草の根活動支援事業・災害支援事業の審査

5. 申請の状況

- （1） 草の根活動支援事業：13団体 13事業（全国：4事業、地域：9事業）
- （2） 災害支援事業：4団体 4事業

6. 議事の前提

- ・ 審査会議では、公募要領に定める「選定基準」とともに、「選定配慮事項・優先選定」に留意し審査を行った。
- ・ 審査は、草の根活動支援事業、災害支援事業の区分ごとに行った。
- ・ 審査委員は審査会議に先立ち、事務局から送付された「申請書類」に基づいて手元審査を行い、審査の過程で生じた疑問については、審査委員にて分担し、各選定申請団体のヒアリングを行った。
- ・ 審査委員は手元審査・面談結果を受け、その結果を事業ごとにコメントとして整理し、審査会議に臨んだ。

7. 議事要旨

審査委員 5名の出席により、深尾昌峰審査委員が議長を務め、審査を行った。議事においては、各審査委員が事前に実施した手元審査の結果を踏まえたコメントを相互に確認しながら検討し、「JANPIA 理事会に対して、選定を推薦する事業」の選定を行った。

なお、審査委員へ選定申請団体名について事前に共有し、利益相反についての自己申告があった事業については、当該団体の審査には加わらなかった。

〈利益相反自己申告の状況〉

- ・ 山内亮太
— 特定非営利活動法人エティック

- ・ 山内明子
— 一般財団法人ふくしま百年基金

災害支援事業

申請のあった事業について、各審査委員が推薦すべきとする意見が多いものから検討を行った。

(1) JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の2事業

以下の事業については、審査委員全員から推薦すべきとの意見があり、推薦することとした。

- 特定非営利活動法人ひろしま NPO センター
- 特定非営利活動法人エティック

(2) 推薦を見送ることとなった事業：以下の2事業

以下の事業については、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

- READYFOR 株式会社
- 一般財団法人中部圏地域創造ファンド

草の根活動支援事業

申請のあった事業について、審査を実施した審査委員全員が推薦すべきとする意見が多いものから検討を行った。

(1) JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の6事業

以下の事業については、審査委員全員から推薦すべきとの意見があり、推薦することとした。

- 公益財団法人日本国際交流センター
- 一般財団法人ふくしま百年基金

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの指摘事項があり、改善に向けた期待事項を付す等により、推薦することとした。

- 公益社団法人日本フィランソロピー協会
 - ・ 事業実施に当たっては助成終了後を見据え、実行団体のコーディネーターが自走可能となるための、また、助成終了後の事業継続の可能性を高めるための、本事業の取り組みについて、さらなるブラッシュアップを期待する。

- 公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団
 - ・ 実行団体が連携し申請する前段のコーディネートがポイントになると考えられるため、必要に応じて公募前相談を実施することや、アドボカシーを含めた出口（持続化）戦略の明確化、事業終了後も財団として、このテーマに継続的に取り組みされることを期待する。

- 公益財団法人ちばのWA地域づくり基金
 - ・ 申請事業の領域は、高い専門性が必要な領域と考えられることから、事業の実施にあたっては専門性を担保する体制を整えることが望まれる。

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの懸念事項が示された。懸念事項について団体に確認し、解消されれば理事会に推薦することとした。

- 公益財団法人新潟ろうきん福祉財団
 - ・ 中間支援団体との協働や、実行団体にコンソーシアムでの申請、円卓会議の設置を条件とするなど成果を生み出すための工夫が各所に見られるが、組織間調整にはより丁寧なフォローが必要となる局面も想定される。また行政を巻き込むなど今一步踏み込んだ事業実施が望まれるため、実行団体の数を半数程度に少なくするなど、体制の点も考慮して事業を進めていくことを期待する。

(2) 推薦を見送ることとなった事業：以下の7事業

以下の事業については、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

- 公益財団法人佐賀未来創造基金
- 社会福祉法人中央共同募金会
- 特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク
- 特定非営利活動法人おっちラボ

- 一般財団法人世田谷コミュニティ財団
- 特定非営利活動法人とちぎボランティアネットワーク
- 株式会社イベント・トゥエンティ・ワン

以上

資金分配団体 審査会議 議事概要

通常枠第2回 ソーシャルビジネス形成支援事業・イノベーション企画支援事業

1. **日時**：2022年12月23日（金） 開会 15：00－閉会 17：00

2. **場所**：東京都千代田区内幸町2丁目2番3号日比谷国際ビル314
JANPIA 事務所内 大会議室、Zoom

3. 審査委員（敬称略）

- ・ 高原康次（グロービス大学院 講師）〔議長〕
- ・ 町井則雄（株式会社シンカ 代表取締役社長）
- ・ 永沢映（NPO 法人コミュニティビジネスサポートセンター代表理事）
- ・ 功能聡子（ARUN 合同会社代表）
- ・ 審査事務局：JANPIA

4. 議題

2022年度通常枠 第2回ソーシャルビジネス形成支援事業・イノベーション企画支援事業の審査

5. 申請の状況

- (1) ソーシャルビジネス形成支援：5団体 5事業
- (2) イノベーション企画支援：9団体 9事業

6. 議事の前提

- ・ 審査会議では、公募要領に定める「選定基準」とともに、「選定配慮事項・優先選定」に留意し審査を行った。
- ・ 審査は、イノベーション企画支援事業、ソーシャルビジネス形成支援事業の区分ごとに行った。
- ・ 審査委員は審査会議に先立ち、事務局から送付された「申請書類」に基づいて手元審査を行い、審査の過程で生じた疑問については、審査委員にて分担し、各選定申請団体のヒアリングを行った。
- ・ 審査委員は手元審査・面談結果を受け、その結果を事業ごとにコメントとして整理し、審査会議に臨んだ。

7. 議事要旨

審査委員4名の出席により、高原康次審査委員が議長を務め、審査を行った。議事においては、各審査委員が事前に実施した手元審査の結果を踏まえたコメントを相互に確

認しながら検討し、「JANPIA 理事会に対して、選定を推薦する事業」の選定を行った。
なお、審査委員へ選定申請団体名について事前に共有し、利益相反についての自己申告
があった事業については、当該団体の審査には加わらなかった。

〈利益相反自己申告の状況〉

・高原康次

—特定非営利活動法人みんなのコードのコンソーシアム構成団体である READYFOR 株
式会社

ソーシャルビジネス形成支援事業

申請のあった事業について、各審査委員が推薦すべきとする意見が多いものから検討を行
った。

(1) JANPIA 理事会に対し推薦する事業：0 事業

(2) 推薦を見送ることとなった事業：以下の5 事業

以下の事業については、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送るこ
ととなった。

- 一般財団法人大阪労働協会
- 株式会社ソシオエンジン・アソシエイツ
- 一般財団法人九州オープンイノベーションセンター
- 合同会社 ICQ
- リタワークス株式会社

イノベーション企画支援事業

申請のあった事業について、各審査委員が推薦すべきとする意見が多いものから検討を行
った。

(1) JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の3 事業

以下の事業については、審査委員全員から推薦すべきとの意見があり、推薦することと
した。

- 特定非営利活動法人みんなのコード
- 一般社団法人グラミン日本

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの指摘事項が

あり、改善に向けた期待事項を付す等により、推薦することとした。

- 一般財団法人リープ共創基金
 - ・ 休眠預金を活用することで、商業的な投資ではリーチできない層への支援が可能となる点が本事業の大きな特徴であり、外部パートナーとして ICT への投資経験者や、政策化に長けた方の支援を得る体制とすることで、本事業の意義をより明確化することが望まれる。

(2) 推薦を見送ることとなった事業：以下の6事業

以下の事業については、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

- 関内イノベーションイニシアティブ株式会社
- 特定非営利活動法人まちぽっと
- 公益財団法人つなぐいのち基金
- 青山学院ヒューマン・イノベーション・コンサルティング株式会社
- 一般社団法人 Data for Social Transformation
- 一般社団法人福岡デザインアクション

以上